

# 平成20年度決算報告

南魚沼市の平成20年度決算が、市議会で認定されましたのでお知らせします

## 平成20年度 決算の概要

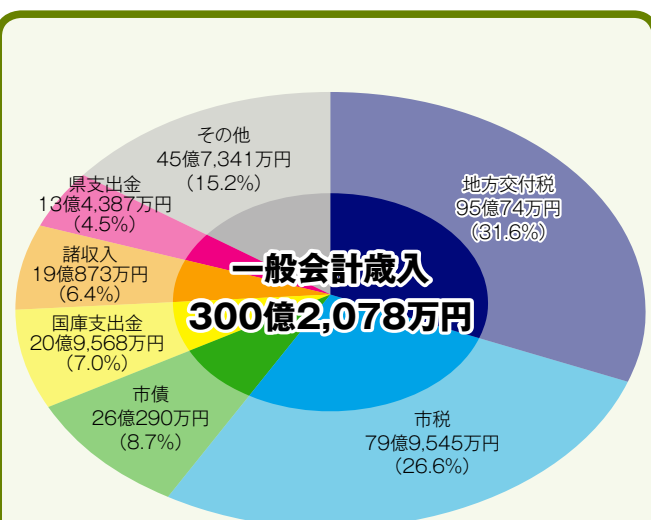
### 決算のポイント

平成20年度の一般会計決算は、昨年度に引き続き財政健全化に取り組んできた内容です。歳入は、前年度に比べ地方交付税5億2,590万円増、国庫支出金5億5,166万円増で、総額300億2,078万円。歳出は、人件費等の削減、各種団体に対する補助金や事業の見直しなど経費節減に努めるとともに、市債の繰上償還を行い総額291億8,885万円でした。

### 主な事業

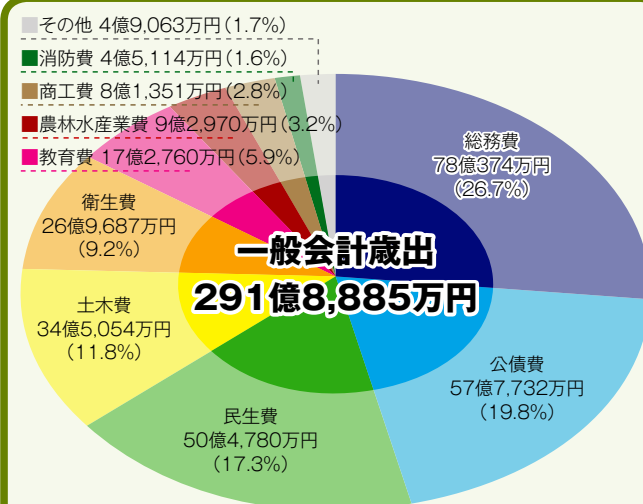
平成20年度は、主に次の事業・施策を行いました。

- (1) 児童・生徒が安全に学べるよう、小・中学校の耐震補強工事、大規模改修工事
- (2) NHK大河ドラマ「天地人」の放送に合わせ、天地人博、伝世館の施設整備
- (3) 平成21年開催の新潟国体に向け、リハーサル大会



### ●歳入項目の説明 (入ってくるお金)

- ①地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて交付されたお金
- ②市税：皆さんから市に納めていただいた税金
- ③市債：国や金融機関から借り入れたお金
- ④諸収入：地方産業育成資金預託金返還金、給食費実費徴収金など
- ⑤国庫支出金：特定の目的のために、国から交付されたお金
- ⑥県支出金：特定の目的のために、県から交付されたお金
- ⑦その他：地方譲与税、使用料および手数料、地方消費税交付金、分担金および負担金、繰越金、財産収入、自動車取得税交付金、地方特例交付金、繰入金、寄附金など



### ▲歳出項目の説明 (出ていくお金)

- ①総務費：市の全般的な管理事務などの経費
- ②公債費：市の借入金である市債の元金や利子などの返済金
- ③民生費：社会福祉・老人福祉・児童福祉などの経費
- ④土木費：道路・河川の新設や改良などの経費
- ⑤衛生費：保健予防の経費、環境美化やごみ処理などの経費
- ⑥教育費：小・中学校の管理運営、生涯学習などの経費
- ⑦農林水産業費：農業の振興や土地改良などの経費
- ⑧商工費：商工業の振興や観光業などの経費
- ⑨消防費：消防・防災対策などの経費
- ⑩その他：議会活動の経費、災害によって生じた被害の復旧などの経費

一般会計と特別会計の決算規模

会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	300億2,078万円	291億8,885万円	8億3,193万円	
特別会計	国民健康保険	60億2,059万円	58億4,537万円	1億7,522万円
	介護保険	46億1,271万円	45億5,484万円	5,787万円
	老人保健	6億5,117万円	6億5,551万円	△ 434万円
	後期高齢者医療	4億4,281万円	4億3,850万円	431万円
	下水道	70億5,907万円	70億2,934万円	2,973万円
計	488億713万円	477億1,241万円	10億9,472万円	



● 企業会計の決算規模

水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	26億1,145万円	25億1,280万円
資本的収支	23億7,670万円	37億8,507万円

病院事業会計	歳入	歳出
収益的収支	37億6,697万円	38億8,594万円
資本的収支	1億7,730万円	2億5,524万円

● 主な基金の残高（平成21年5月末現在）

財政調整基金	21億1,259万円
合併振興基金	23億8,410万円
国際交流及び文化・スポーツ基金	1億2,195万円
ふるさと基金	4億円
下水道建設基金	1億1,250万円
国民健康保険支払準備基金	3億6,529万円

▲ 市債の残高（平成20年度末現在）

一般会計	362億1,235万円
下水道特別会計	335億4,952万円
水道事業会計	177億6,086万円
病院事業会計	10億2,767万円
計	885億5,040万円



● 市の財産（平成20年度末現在）

土地	1,680万3,329㎡
家屋	31万3,775㎡
有価証券	4億104万円



● 主な財政指標（平成20年度数値）

項目	数値	説明
標準財政規模	184億546万円	地方公共団体で標準的に収入が見込まれる一般財源の規模
財政力指数	0.509	地方公共団体の財政力の強弱を示す指標 (この数値が1以上の団体は、普通交付税の不交付団体となります)
実質収支	3億7,676万円	収入と支出の差額から翌年度に繰り越すべき財源を引いた額
実質収支比率	2.0%	実質収支額 ÷ 標準財政規模 × 100 で示される指標
経常収支比率	95.1%	この数値が高いほど財政構造の硬直化が進んでいるといわれています。(90%以下が望ましいとされています)
実質公債費比率	22.9%	標準財政規模のうち、どのくらい借金の返済に使われているかを示す数値です。現在、「公債費負担適正化計画」を実行中です。

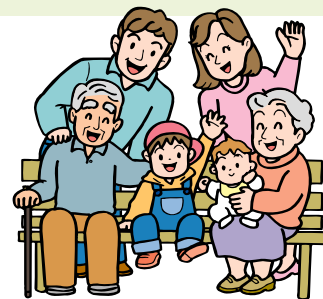
(注①) 割合の数値は、小数点第1位以下を四捨五入しています。

(注②) 数値の端数は、各合計額の割合で計算していますので、計算式の値と完全に一致しない場合があります。

詳しくお知りになりたい方は、財政係までお問い合わせください。

## 一般会計歳出は市民一人当たり「473,307円」

科目	金額(円)	科目	金額(円)
総務費	126,540	教育費	28,014
公債費	93,681	農林水産業費	15,075
民生費	81,852	商工費	13,191
土木費	55,952	消防費	7,315
衛生費	43,731	その他	7,956



(注) 平成21年3月31日現在の住民基本台帳人口61,670人で計算しました。

## 南魚沼市の財政事情を家計に例えると(※決算統計の数値で計算)

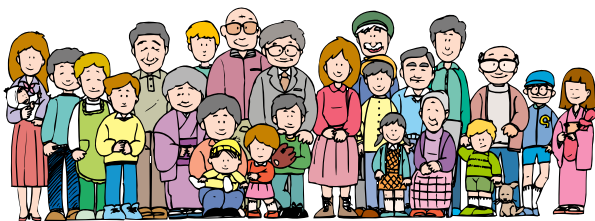
毎月の生活費として29万円必要(毎月5万7千円のローン返済を含む)な家庭が、月収が約11万7千円(うち、給与所得は8万円)しかないため、17万3千円の不足が生じている状態です。この不足額を毎月、実家から14万6千円(家の新增築や家電製品の購入のための特別な援助:4万5千円、生活費の不足分に対する援助:9万5千円)を仕送りしてもらい、今まで蓄えていた貯金を1万5千円ずつおろして、さらに金融機関から2万6千円借り入れることで補っています。(残った8千円は翌月に繰り越し)

## ▲平成20年度の歳出(支出)

項目	決算額	家計に例えると
人件費	58億6,900万円	食費
物件費	31億8,800万円	光熱水費
維持補修費	10億5,600万円	家の補修費
扶助費	26億2,600万円	医療費
補助費等	26億4,000万円	養育費
公債費	57億1,600万円	ローンの返済
積立金	6億2,700万円	預貯金
投資及び出資金・貸付金	4億2,900万円	投資、貸付
繰出金	34億6,900万円	自治会の会費
投資的経費	33億7,900万円	家の新增築や家電の購入
計	289億9,900万円	

## ●平成20年度の歳入(収入)

項目	決算額	家計に例えると
自主財源	131億9,900万円	
うち、地方税	79億9,500万円	勤務先からの給与
うち、繰入金	14億6,600万円	貯金の取り崩し
うち、上記以外の自主財源	37億3,800万円	アルバイト等の副収入、先月からの繰越金
依存財源	166億3,200万円	
うち、国県支出金と各種交付金	45億6,300万円	家の新增築や家電の購入などのための特別な援助
うち、地方交付税	95億100万円	生活費の不足分に対する援助
うち、地方債	25億6,800万円	
計	298億3,100万円	



## 財政健全化の達成状況

項目	5年間の目標額 (平成18~22年度)	健全化目標達成額		
		平成20年度当初予定額	平成20年度実績額	達成率(%)
人件費の抑制	30億8,500万円削減	7億900万円	7億1,300万円	100.6
内部経費の削減	7億7,100万円削減	1億6,500万円	1億6,700万円	101.2
投資的経費の抑制	9億8,700万円抑制	3億5,000万円	3億5,000万円	100.0
行政水準の明確化	4億9,300万円削減	1億300万円	1億3,500万円	131.1
繰出金の見直し	11億5,000万円削減	2億4,200万円	2億4,200万円	100.0
公債費の削減	2億5,100万円削減	5,400万円	7,400万円	137.0
歳入の確保	3億6,300万円増収	6,300万円	5,400万円	85.7
計	71億円	16億8,600万円	17億3,500万円	102.9

※総額で予定額どおり達成することができました。